



原田正純先生が、
6月11日、午後10時12分、急性骨髄性白血病のためなくなられました。
ご自宅で、奥様、長女、二女、先生の弟さまに、囲まれて静かに息を引き取られました。
享年 77歳。
4月末から日本赤十字病院に入院、5月6日、ご自身の意志で退院され、抗がん治療等いっさい行わず、減少する血小板を補う輸血だけを定期的を受けつつ、自宅療養。
6月3日に結婚45年のお祝いを家族と行われ、その後も見舞客をニコニコと迎えておられました。

60歳直前に胃がん手術、2006年8月脳梗塞発作、2007年9月食道がん手術、一昨年より血液のがんとの診断を受けて治療中だった。
アマリア・ロドリゲスの「黒いはしけ」をかけて、青春の思い出にひたりつつ、奥様が大事にされていた庭を眺めながら最後のときを過ごされました。
水俣病、三池CO、カネミ油症など公害の被害者らにつねに寄り添う反骨の医師として生涯を閉じられた。

(熊本学園大学水俣学研究センター長 花田昌宣)

お別れ会

(無宗教で自由葬として執り行います)

6月14日 12時

玉泉院 月出会館

〒862-0920 熊本市東区月出 8-1-5/

TEL 直通電話：096-382-6668

喪主：原田寿美子（すみこ） ご令室

原田正純 略歴

- 1934（昭和9）年9月14日、（鹿児島県）生れ
久留米市西国分国民学校入学、熊本市黒髪国民学校を経て
鹿児島県宮之城町平川小学校卒業
- 1950（昭和25）年4月 宮之城町立中学校卒業
- 1953（昭和28）年3月 鹿児島市私立ラ・サール高校卒業
4月 熊本大学理科乙類入学（1955年医学部専門課程へ）
- 1959（昭和34）年3月 熊本大学医学部卒業
- 1960（昭和35）年6月 医師国家試験合格
- 1961（昭和36）年4月 立津政順教授にもとで初の水俣現地調査へ
- 1964（昭和39）年5月 熊本大学医学部附属病院神経科精神科助手
9月 胎児性水俣病の臨床的・疫学的研究で熊大医学博士
- 1965（昭和40）年4月 胎児性水俣病の論文で日本精神神経学会賞を受賞
- 1967（昭和42）年8月 熊本大学医学部神経精神科講師
- 1972（昭和47）年10月 熊本大学体質医学研究所気質学講座助教授
- 1999（平成11）年4月 熊本学園大学教授（社会福祉学部福祉環境学科）
- 2005（平成17）年4月 熊本学園大学水俣学研究センター設立センター長
- 2010（平成22）年3月 熊本学園大学を退職
4月 熊本学園大学水俣学研究センター顧問
- 2012（平成24）年6月11日 永眠